

2024年度事業計画書

自 2024年 4月 1日

至 2025年 3月 31日

公益財団法人日本ゲートボール連合

2024 年度事業計画

I. 事業方針

1984年に日本ゲートボール連合が創設して以来、他のスポーツ団体にもまして、素晴らしい組織形態を維持しているものの、高齢化による硬直化した組織を活性化させるために明確な支援を実施したい。

本年度は、5年間にわたって行われてきた再生プロジェクトの実績を基に、ユニバーサルスポーツとして実現可能な事業展開のあり方を見出すべく、柔軟な姿勢で事業を行っていく。本連合は、さまざまな意見を積極的に取り入れながら新しい分野に取り組み、ゲートボールの更なる可能性を模索する。誰もがスポーツに参画できるような機会の創出・機運醸成に引き続き取り組み、ゲートボールを通じて地域社会の活性化に向けた事業を促進する。

全世代スポーツのコンセプトを再度徹底し、老若男女、障害のある方も、ない方もすべての人が生きがいを感じられる、多様性が尊重される社会に対応するためのゲートボールを目指す。一方、ゲートボールを次の世代に引き継いでいくために、デジタル化開発、加盟団体へのICT（情報通信技術）など環境整備を進める。

なお、日本ゲートボール連合の主たる事業は、日本財団を通じたボートレースの貴重な収益金からの助成をはじめ、日本スポーツ振興センターやスポーツ安全協会等から支援をいただいて実施する予定であり、常に経費の見直しを図りながら、これらの資金を有効・適切に活用し、一層の効率的かつ積極的な事業運営を行う。

II. 事業【公益目的事業】

1. ゲートボール活性化事業

- (1) 多様性に対応したデジタルコンテンツの整備
- (2) 安定した収益化を目指した広報ツールの拡充
- (3) 地方組織とのICT等オフィス環境の整備による連携強化

2. 普及および振興

1) 学校・地域スポーツとしての育成

- (1) 全国高等学校ゲートボール選手権大会〔スポーツ安全協会助成 申請中〕
- (2) 全国ユースゲートボール連盟との協力体制づくり・活動支援

2) 日本発祥スポーツとしての海外普及〔日本財団助成事業〕

- (1) 指導者や審判員等の海外派遣
- (2) ゲートボール用具や刊行物等の寄贈

3. 全日本選手権大会およびその他の競技会の開催

1) 全国大会の開催

- (1) 全日本ゲートボール選手権大会〔スポーツ振興基金助成 申請中〕
- (2) 全国選抜ゲートボール大会〔日本財団助成事業〕
- (3) 全日本世代交流ゲートボール大会〔日本財団助成事業〕
- (4) 全国ジュニアゲートボール大会〔日本財団助成事業〕
- (5) 全国社会人大会〔日本財団助成事業〕

▶開催地・期日等は別表1参照。

2) 地域選手権大会の主催

- (1) 地域ゲートボール選手権大会（ジュニア、ミドル、スーパーシニア含む）

3) 国民スポーツ大会の実施

- (1) 第78回国民スポーツ大会（公開競技）
- (2) 国民スポーツ大会予選会（10地域）の開催支援
- (3) 2025年度以降の国民スポーツ大会の開催準備

【参考】

<第3期>

<第4期>

年	開催地	年	開催地
2024年	佐賀県	2028年	長野県
2025年	滋賀県	2029年	群馬県
2026年	青森県	2030年	島根県
2027年	宮崎県		

4. 国際的競技会の開催と代表チームの選考および派遣、ならびに外国チームの招聘〔日本財団助成事業〕
 - (1) 第8回アジアゲートボール選手権大会の開催
▶詳細は別表1参照
 - (2) 国際大会・交流会等への日本チームの派遣
5. 競技規則に関すること
見直しが予定されている「世界ゲートボール連合：国際公式競技規則」に対して検討内容を世界連合に提言するとともに、改正が施行となった場合は、日本の公式競技規則も準拠することとし、すみやかに移行できる整備を行う。
6. 指導者の養成〔日本財団助成事業〕
 - (1) 指導者研修会の実施
 - (2) JSP0 公認ゲートボール指導者（コーチ1）の養成
7. 審判員の養成および認定
 - (1) 審判員資格の試験、登録、ならびに登録更新の実施
▶ジュニア・ユース世代への資格取得促進（登録料免除）の継続
 - (2) 国際審判員資格の試験、登録、ならびに登録更新の実施
 - (3) 全国大会等の開催地での審判研修会の実施〔日本財団助成事業〕
8. ゲートボール器具・用具の研究開発および認定
 - (1) 安全検査に合格したスティックやボールに関する認定制度の実施
9. ゲートボールに関する刊行物の発行
 - (1) 書籍「競技規則・審判実施要領」、「ルール解説 Q&A」等の発行
▶国際公式競技規則の改正となった場合には、各種刊行物等の見直しを行い、正確な伝達とすみやかな施行への整備を図る。
 - (2) 「ゲートボール Navi 2024 作成配布〔スポーツ振興くじ助成 申請中〕
▶デジタル配信：逐次
刊行物 配布：計2,000部
10. その他、この法人の目的を達成するために必要な事業
 - 1) 功労者等の表彰
 - (1) ゲートボール功労賞（被表彰者は各団体1名）
 - (2) 健康功労賞（各団体1名～8名とし、200名を基準とした比例配分）
 - (3) 審判員功労賞（各団体最低1名とし、100名を基準とした比例配分）
 - (4) 記念周年特別功労者表彰〔日本財団助成事業〕
 - 2) 全国健康福祉祭（ねんりんピック）のほか、官公庁・自治体等の公的機関および関連団体が開催する各種ゲートボール大会への後援協力等

- 3) ゲートボール活動における事故予防・防止に向けた啓発活動等
 - (1) ゲートボール活動中（競技会や講習会等）における事故状況の収集と予防・防止に向けた啓発への取組み
 - (2) 見舞金の対応
- 4) アンチ・ドーピング教育・啓発活動
 - (1) eラーニングの受講
 - (2) 日本連合主催全国大会における競技プログラム等の理念広告の掲載
 - (3) 日本連合主催全国大会における横断幕の掲示
- 5) 広報
 - (1) ウェブサイトおよび公式SNS等の充実
- 6) その他
 - (1) 会員データシステム（オンライン）の整備
 - (2) 寄付金・賛助金および協賛企業等の募集
 - (3) スポーツ団体ガバナンスコードへの対応
 - (4) 定時評議員会、理事会、その他必要に応じた各種会議の開催
 - (5) 国際ゲートボール組織（世界・アジア）の事務局業務の受託

【別表 1】2024 年度 日本連合主催全国大会等

(1)	文部科学大臣杯 第 40 回 全日本ゲートボール選手権大会	スポーツ振興基金助成 申請中	
	岡山県倉敷市	2024 年 10 月 5 日 (土)・6 日 (日)	48 チーム
(2)	第 39 回 全国選抜ゲートボール大会	日本財団助成事業	
	東京都世田谷区	2024 年 6 月 15 日 (土)・16 日 (日)	96 チーム
(3)	内閣総理大臣杯 第 41 回 全日本世代交流ゲートボール大会	日本財団助成事業	
	未定	未定	48 チーム
(4)	第 29 回 全国ジュニアゲートボール大会	日本財団助成事業	
	埼玉県熊谷市	2024 年 8 月 3 日 (土)・4 日 (日)	144 チーム
(5)	第 22 回 全国社会人ゲートボール大会	日本財団助成事業	
	埼玉県熊谷市	2024 年 8 月 3 日 (土)・4 日 (日)	48 チーム
(6)	第 13 回全国高等学校ゲートボール選手権大会 3 人制 (リレーションー 3) による実施	スポーツ安全協会助成 申請中	
	長野県長野市	2024 年 12 月 15 日 (日)	12 校程度
(7)	第 78 回国民スポーツ大会 [公開競技] S A G A 2 0 2 4 国スポ	-----	
	佐賀県鳥栖市	2024 年 9 月 7 日 (土)・8 日 (日)	32 チーム

<国際大会>

(8)	第 13 回世界ゲートボール選手権大会	-----	
	開催地：未定	2022 年開催予定が、2026 年開催へと延期	
	世界連合加盟国および普及国・地域から選ばれた 64 チーム		
(9)	第 8 回 アジアゲートボール選手権大会	日本財団助成事業	
	中華人民共和国	開催期日未定	
	アジア連合加盟団体およびアジア地域の普及国・地域から選ばれた 64 チーム		